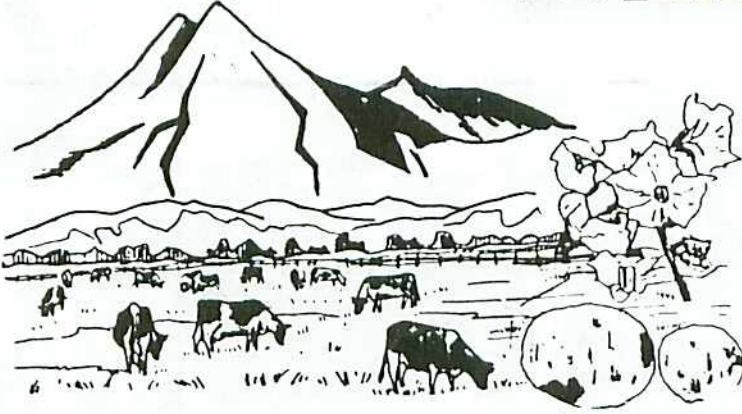


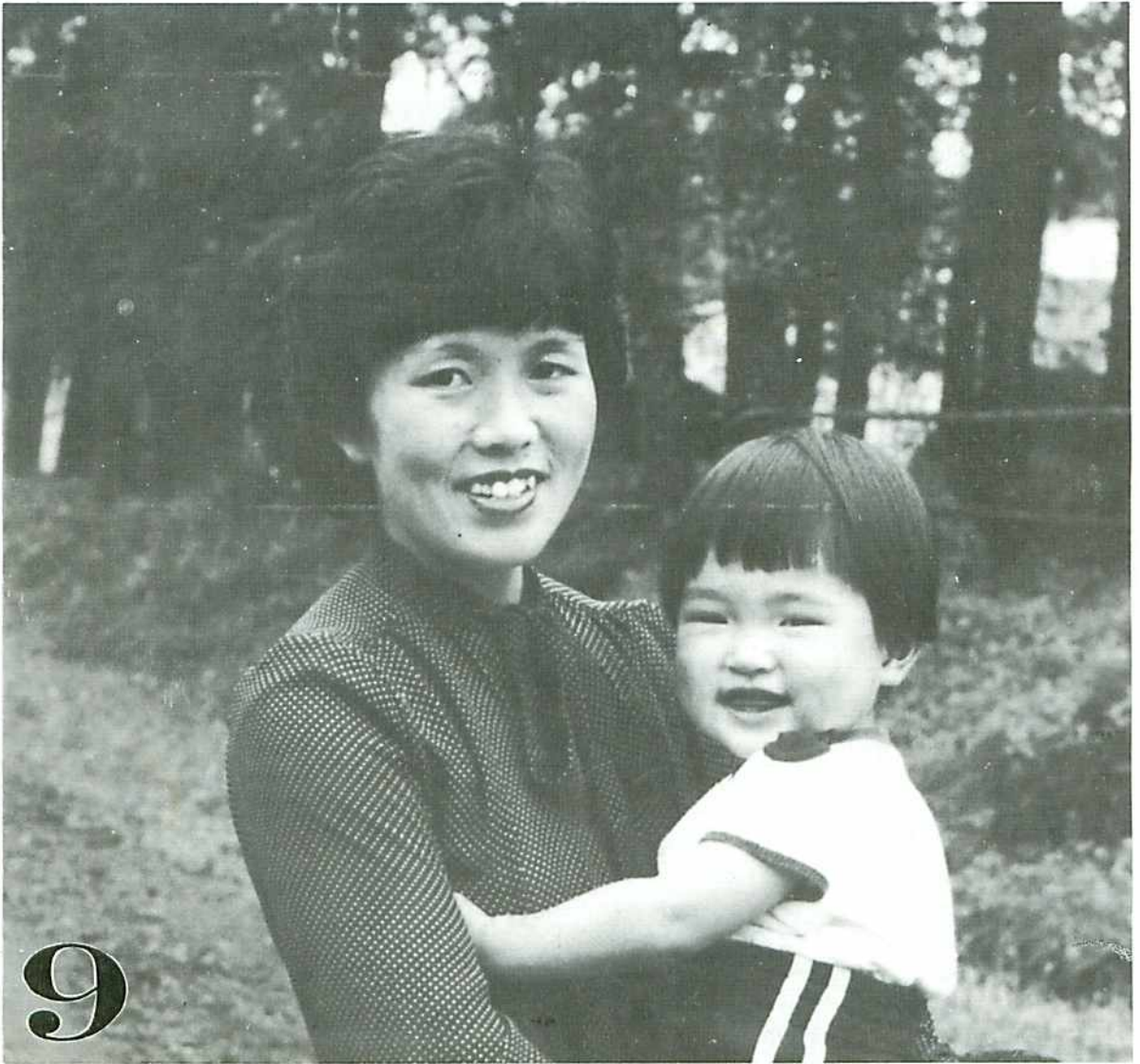
なか|べつ 農協だより



第105号

昭和58年9月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社



9

期待の8頭“全道共進会へ”



’83根室ホルスタイン共進会開催される!!

一九八三年、根室ホルスタイン共進会が去る八月五・六日の二日間、南中の共進会場で開催されました。当日は六・七月と続いた異常気象を一気に吹き飛ばすような好天、猛暑となり、共進会の開催も危惧されたが、出品頭数は二三頭と例年を若干下まわったものの、全道出場をめざして日頃の改良の成果を争いました。

審査員は日本ホルスタイン登



’83根室ホルスタイン共進会上位入賞牛

部	等	出品No.	名	号	出品者	備考
2	2~3	205	ノックデイアー パリアント ピアレス		遠藤与畏二	
2	2~4	244	スパーブ ビューティ プレミア		久保慶一郎	
2	2~7	226	オームスビー クルセダー クリストファー		新井範美	
3	1~2	315	エルシー ベネット エース コピーライト レッド		太田 功	全道出品
3	1~5	327	スプリング ローヤル マリナー		藤田誠二	全道出品
3	2~3	303	サニーデール シルビア モデル ノーグ		弾正原 正	
4	1~1	417	グローリアス ローヤル タイロー		松本正通	全道出品
4	2~1	424	カントリーライト シュープリーム クリスタン		国光達夫	
5	1~2	517	バクラマー クリスタル ガール		富沢保男	全道出品
6	2~4	616	カントリーライト エース マリナー		国光達夫	高能力牛1位表彰
7	2~4	701	デコール ノーザン クリスタン		松本正通	
7	2~6	722	パラマウント クリスタル ワン		弾正原 正	全道出品
8	2~5	820	オークデール マラソンヒット クリスチース		横田光彰	
10	1~3	1010	ガパネス スカイビュー ビクター ベネット		新井範美	全道出品
10	2~1	1020	マウンツリー センセーション		秋山久雄	
10	2~2	1013	バインデール ハツヒメ ノーグ		福島信一	全道出品
11	2~1	1107	ミスヨーク カウンテス コッキー		川村清身	全道出品

農協に
ふさわしい
組織運営

農協を

企業と どこが違うか?

語る

今回は大切な営農・生活指導について述べたいと思います。

営農・生活指導・教育・広報活動が重要な事は当然のことですが、単に生産資材を供給する、できた農畜産物を販売するといっただけでは、一般企業となら変わりません。

購買・信用・共済事業の源は組合員の所得であり、農協がその所得を確保し、増大にいかにか寄与するかが大きな問題となります。

そのためには、営農指導事業

の充実が前提となります。営農指導を軽視する農協では、組合員の信頼は得られません。

また、組合員の健康管理の活動や生活文化を高める活動、老人の生きがい対策などを進めていかなければなりません。

更に、協同組合原則にもありますように、組合員の協同心を養い、主体的に組織運営に参加する意欲を高めるために日常的に組合員教育を実施していくと同時に、役職員の能力向上の教育も欠かすことができません。

これとともに、地域の人々に対しては、農業と農協への正しい理解と認識を深める意味での教育・広報を活発化していく必要があります。

次に、経済事業そのものも、単に供給して終わりというのではなく、組合員教育の面を重視して相談活動を強化していかなければなりません。

古くから指導購買とか、指導金融とか言われてきました。この実践を進めていく事が大事です。

たとえば、購買品の供給にあたって、その有効な使い方はもちろんのこと、不要なものを買わないように指導をするとか、共済を勧める場合でも、ただ加入を勧めるのではなく、それぞれの組合員家庭の実情に合った適切なものを用意しなければなりません。

資金の融通においても、その資金をあてる事業についての丁寧な相談と助言などは、農協にとって欠かす事のできない活動です。

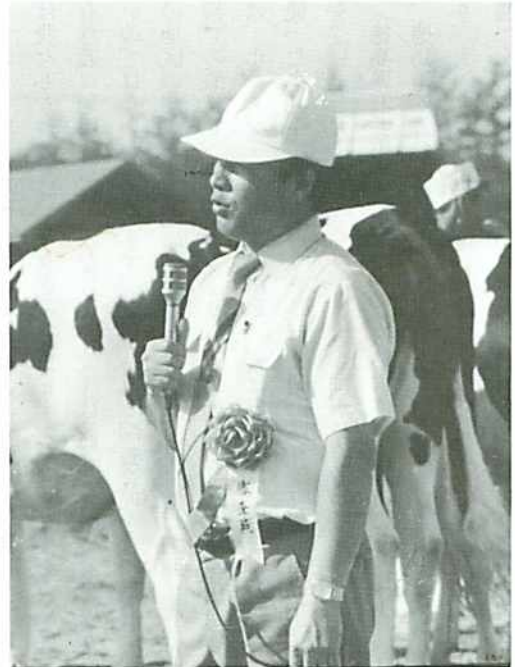
録協会北海道支局の門前道彦氏が根室管内で初めての審査をおこない、当農協からは四十九頭の牛が出品し十七頭の牛が入賞するという輝かしい成績を残しました。

今年から新しい趣向として経産牛各部出品牛の中から高能力牛を選び、体型と能力を結びつけて行こうという事で、六部二才経産クラスに出品した国光達夫さん所有のカントリーライトマリナー号が最高日量二十六・

kgを出し、第一位で表彰されました。

又、この共進会は北海道ホルスタイン共進会の予選も兼ねており、中標津からは別表の八頭の牛が資格を獲得し、来る九月十一日の二日間、早来町で開催される北海道ホルスタイン共進会での活躍が大いに期待されています。

（署名）



府県消流地視察報告

搾つても足腰が丈夫で
長もちするのが評価される

家畜改良課畜産係長 井手本 李次郎

八月上旬、連日三十度を越す真夏日の続く関西方面の中標津ホルスタイン購売地を情況視察して参りました。

《兵庫県尼崎》

この地区には数年前より経産牛のそれかなり年令の高いものが主に入っております。大都市大阪を控え、典型的な都市型酪農で全て市乳です。殆どの牛が一乳期だけ搾るだけ搾って、あとは肉という事になります。牛を購入する場合の条件は従って乳を良く出し肉も良くつくる、という相反するような事になってしまいます。ここは粕酪地帯ですから能力については北海道で飼養されている場合よりかなりアップするのは当然で、余程ひどい牛を送らない限り問題は無いと思われます。又、肉という事も非常に重視しており、体積のある大型牛が好まれ

今回訪れたのは兵庫県尼崎、徳島県石井町、岡山県賀陽町の三ヶ所でしたが、環境とそれに伴い飼養形態もちがう所でしたが、しかし共通して言える事は北海道以上に「もうける」という事に対して貧欲であるという事でした。ですから、よりもうかる牛を求めるのは絶対の条件になっており、中標津ホルスタインは評判は良い地区もありましたが、個体により能力の低いものに対しては厳しい批判も受けました。以下三ヶ所での情況を報告します。

この地区には数年前より経産牛のそれかなり年令の高いものが主に入っております。大都市大阪を控え、典型的な都市型酪農で全て市乳です。殆どの牛が一乳期だけ搾るだけ搾って、あとは肉という事になります。牛を購入する場合の条件は従って乳を良く出し肉も良くつくる、という相反するような事になってしまいます。ここは粕酪地帯ですから能力については北海道で飼養されている場合よりかなりアップするのは当然で、余程ひどい牛を送らない限り問題は無いと思われます。又、肉という事も非常に重視しており、体積のある大型牛が好まれ

ているようです。「大阪商人」という言葉がありますが、彼等酪農家も全く同じで、例えば能力にしても、ミルクメーターを備え自家検定を行い、もうけるための数字を一頭く細かく計算しております。この点については我々ももっと乳検データをの有意義に利用しなければならぬいのではないかと思ひます。この地区の印象は住宅地の密集地帯での酪農で、酪農と言うよりは、ホルスタインという機械を使った牛乳生産工場という感じを受けました。

《徳島県石井町》
徳島市郊外の吉野川添いにあり、大阪とはだいぶ違い「酪農」をしているという感じの受ける地帯です。粗飼料も十分豊富で、コーン・稲ワラ等を与えております。ここには中標津から初妊牛が導入されており、評判の方はまあまあと言つたところですが、改良に対しても熱心で、クリストファーやマリナー等の種牡牛は人気があり、その娘牛を欲しがっております。これらの種牛は精液一本の価格は高価ですが、これからの個体販売には大いに歓迎され、売りやすい品物になるでしょうから、授精しておけば大いに貢献する事でしょう。この地区には決して高い牛が来ている訳ではありませんが、共進会でチャンピオンを獲つた牛もいます。彼等は彼等なりの最も良いと思われる飼養管理をし改良もしてあります。牛は常に一頭く評価されていると言う事を生産地の人には忘れてはならないのです。

《岡山県賀陽町》
国が身障者対策として建設中の吉備高原都市にあります。五ヶ村が合併して賀陽町になったそう、従つて賀陽町農協は五ヶ所の支所があります。組合員は二千人で酪農家は八十四戸という事でしたが酪農収益は戸数の割には大きいという事でした。農協自体も酪農には相当力を入れており、農協牧場を経営しております。今回中標津より二十八頭の初妊牛を導入し、この牧場で展示即売会を開催しました。昨年頃から導入し始めた中標津ホルスタインは大変評判が良く、この日も、四十人くらいの酪農家が集まり、お目当ての牛を求めました。乳器が良くて体積のあるものが好まれ、価格も五十万前後のものに集中しました。肋の無いもの、書類で高いものは嫌われ、この日は四頭が売れ残つてしまいました。これらの牛については農協の牧場で搾るから心配はいらないと言う事でした。

この農協では酪農家は全員、酪農部会という組織に入っており、北海道への乳牛の導入もこの部会で計画実施しており、毎年何人か中標津へも来ております。又、だいぶ昔になります。青年団の關係で俣落へ酪農実習に入った人達もいて、賀陽町

と中標津は縁が深いという話にもなりました。牛も活躍してくれるし、人のつながりも色々あるし今後共よろしくお願いしたいとの事でした。

即売会のあと数戸の酪農家を見せて貰いましたが、初産で八十二点を取ったばかりの牛や岡山スプリングシヨウで最優秀に輝いた牛など、中標津ホルスタインは活躍しており、搾っても足腰が丈夫なので長持ちをし、この地区では大きな評価を受けました。この辺の酪農は育成牛には手が廻らないのか、非常に悪い状態でした。成牛になって北北海道から直接来たものとは牛舎に入ってみると一目で分る程の差がついております。北海道から来た牛の仔でも親以上には絶対ならないそうで、将来も中標津のお世話になりますとの事です。

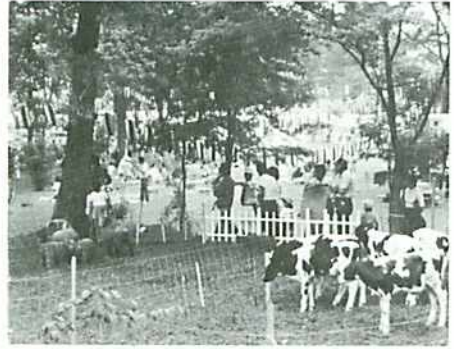
「良いものを安く売らなければお客さんは来ない」一般の商売と全く同じだと思います。個体販売にある程度たよらなければならぬ酪農経営をしている以上は牛は商品です。今回関西を見た感じでは、これからの個体販売の中心は、中物以下が主体であり、その中でも四十万クラスの牛に集中しています。現在育成をして種付をして売るまでにするには約三十七万の経費がかかります。うまく購買されたとしても数万のもうけしかありません。作った商品が全て売れなければなりません。客は良い品物が沢山いる所を求めて常にあちこち目をつけています。個体販売に関しては登録の書類で売る時代は終わったと言っても過言ではないと思います。基礎登録でも良いものは売れます。この事も十分に理解し乳牛を改良し続け、中標津ホルスタインのレベルアップを計る事が生産地の大きな役割であり、自らの酪農経営を安定させるの事です。

八月十六日、中標津町丸山公園で行われたなかしべつ観光まつりに協賛して
中標津町農協・
計根別農協・中
標津町農協青年
部・ホクレン・
雪印中標津工場
等と共に産業展
コーナーを開催
し、観光まつり
を盛り上げた。

新しい試み 産業展コーナー

なかしべつ観光まつり

八月十六日、中標津町丸山公園で行われたなかしべつ観光まつりに協賛して



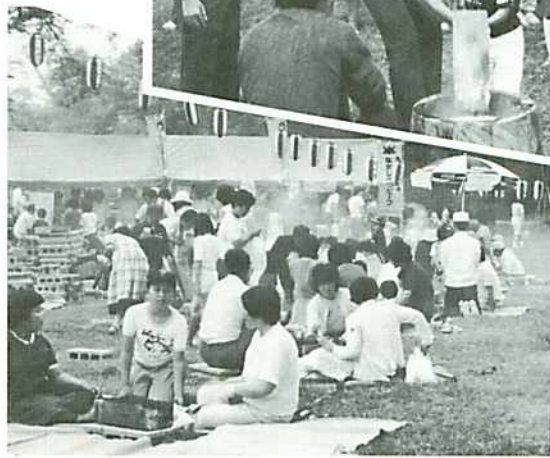
サホークとホルの三二牧場



うまかつけるかなあ～



おいしい牛乳早く飲めるかな?



サホーク羊肉と
なかしべつビーフの試食

営農技術

エゾノギシギシを退治しよう!!

北根室地区農業改良普及所

5月号の4ページも参照して下さい。

一、草地内最強の雑草

エゾノギシギシは、再生力が旺盛で、年間二〜三回種子を生産します。

また、ギシギシの種子は、開花後二週間で発芽能力をもち、完熟した種子は土中での寿命が長く、四年経過したものでも七十以上の発芽率があります。草地内に侵入し広がったギシギシは、牧草の生育を抑圧し、収量の低下をもたらす草地内最強の雑草です。

二、種子の伝播経路を断つ

ほ場の一部でギシギシを見つけたら、ほ場全体に広がる恐れがあると判断して対処すべきです。その理由として、種子の伝播経路が多様なことと、非常に生命力が強いことがあげられます。伝播経路としては、水や動物・作業機械の媒介があ

げられます。

たとえば、堆肥を入れると、ギシギシが増えるので「堆肥も考えものだ」という話がありますが、これでは堆肥がかわいそうです。これは、堆肥場周辺のギシギシが茶色の完熟した種子をつけるまで放置されたままほ場に散布されることが問題なのです。また、堆肥場に種子が運ばれる過程の中で、採食草や敷料に用いた乾牧草中にギシギシ種子が混入しているという実態があります。

ギシギシ除去のためには、種子をつけさせないことが大切でそのためには、抽苔前の刈り払いを少なくとも二回以上行うことが必要です。また、ギシギシの種子は発芽に光を必要とするので、牧草の密度が高く地表が被覆されると、発芽はおさえら

れます。

三、除草剤(アーザラン)

牧草の生育を旺盛にする肥培管理や適期収穫などの基本技術の励行に加え、除草剤を正しく使用することにより効果が期待できます。

ギシギシは、気温が10℃ぐらいいに下がっても、開花・結実するので、秋だからといって油断は禁物です。春にアーザランを散布したほ場であっても、二番草収穫後、実生のものが多く発

生した場合などは、もう一回散布します。秋散布は、二番草収穫後の九月中旬〜十月中旬が適期です。ギシギシの生育を観察して葉が大きくなり、茎が見える直前のころの散布が効果がありますが、葉が赤紫色になり、穴があくころになると効果がありません。葉量は、十アルルあたり経年草地で三〇〇cc〜四〇〇cc、今春五〜六月に播種して一回掃除刈りなどを行った新播草地では、二一〇〇〜三〇〇ccで

す。
四、草地型酪農地帯にふさわしい草地を
一度更新したら八年以上も利用する草地を、最後まで高収量を確保できる草地として維持するためにも、また、草地型酪農地帯にふさわしい草地にするためにも、ギシギシの退治は必要です。計画的に雑草対策を実行しましょう。

健康メモ 糖尿病の予防 (その1)

中標津町福祉課



今年の名古屋場所所優勝した「隆の里」。糖尿病にもかかわらず、頑張りましたネ……さて、最近ふえつつある糖尿病を防ぐにはどうしたらいいのでしょうか？
糖尿病は糖尿病になりやすい素質にいろいろな環境因子が加わって発病する場合が多く、日頃から充分注意することによってその発病を防ぐことが可能です。
では、環境因子には一体どんなものがあるのでしょうか。代表例が次の三つです。
心あたりありませんか？
次回は左絵の一つ〜について考えていきましょう。

乳検情報

乳検検定牛による 乳房炎検査の経過

本年度より実施しております乳検乳房炎検査も四ヶ月過ぎ、成績をまとめてみました。陽性率・頭数共七月になって減少した事は事業の成果と思われまます。(表1・2)

産次別に比較しましても産次を増すごとに陽性率が高く、五産以上の牛は三頭に一頭が乳房炎という結果が出ています。(表3)

3) 乳房炎は乳量・成分の減少を招くだけでなく、乳質にも大きく影響します。予防及び早期発見・治療により損失を防ぎましょう。

表1 乳検検定牛による乳房炎検査月別成績

	検査頭数	-	±	+	+	+	陽性率	分娩頭数	内陽性頭数	陽性率
4月	4,770頭	3,176頭	345頭	981頭	237頭	31頭	26.2%	816	197	24.1
5月	4,893	3,293	317	912	329	42	26.2	659	144	21.9
6月	5,009	3,225	554	692	468	70	24.6	541	107	19.8
7月	5,149	3,621	514	648	323	43	19.7	552	110	19.9

表2 月別産次別陽性

	陽性頭数	1産	2産	3産	4産	5産以上
4月	1,249頭	134頭 10.7%	161頭 12.9%	194頭 15.5%	235頭 18.8%	525頭 42.0%
5月	1,283	118 9.2	169 13.2	208 16.2	227 17.7	561 43.7
6月	1,230	116 9.4	154 12.5	192 15.6	221 18.0	547 44.5
7月	1,014	79 7.8	130 12.8	157 15.7	180 17.8	468 46.2



表3 産次別陽性(58年7月分)

	検査頭数	陽性頭数	陽性率
1産	1,216頭	23.6%	79頭 6.5%
2産	973	18.9	130 13.4
3産	876	17.0	157 17.9
4産	744	14.5	180 24.2
5産以上	1,340	26.0	468 34.9
合計	5,149		1,014 19.7

57年度乳検の成績から乳成分の結果報告

下表は57年1月から12月までに完了した164戸の牛群で、1頭当たり平均の成績を項目別に最高と最低を比較した表です。

項目	乳量	日量	脂肪率	脂肪量	無脂固形率	無脂固形量	濃厚飼料
最高	7,830.0kg	25.7kg	4.09%	282.0kg	8.73%	684.0kg	2,626.0kg
最低	3,409.0	12.7	3.20	123.0	8.01	290.0	593.0
差	4,421.0	13.0	0.89	159.0	0.72	484.0	2,033.0
平均	5,758.0	19.5	3.57	205.0	8.50	394.0	1,391.0
項目	飼料効果	乳飼比	濃厚飼料単価	搾乳日数	粗利益	乳代単価	体重
最高	9.1	8.0	67円	321日	639,000円	96.62銭	716.0kg
最低	2.1	24.0	48	252	268,000	85.08	580.0
差	7.0	16.0	19	69	371,000	11.54	136.0
平均	4.4	15.0	57	296	454,000	90.94	644.0

注) 粗利益=乳代-濃厚飼料費 乳代単価は脂肪kg1,000円、無脂固形kg450円、補給金kg17円で算出。

表1 地域で栽培されている自給野菜

【緑黄色野菜】		【淡色野菜】		【いも類】	
種類	栽培割合	種類	栽培割合	種類	栽培割合
にんじん	8戸(100%)	だいこん	8戸(100%)	馬鈴薯	7戸(88%)
かぼちゃ	8戸(100%)	はくさい	8戸(100%)	長いも	4戸(50%)
春ぎく	4戸(50%)	きゅうり	8戸(100%)		
みつば	6戸(75%)	さやえんどう	8戸(100%)		
パセリ	2戸(25%)	長ねぎ	5戸(63%)		
ピーマン	7戸(88%)	京ふき	2戸(25%)		
ししとう	1戸(13%)	とまと	7戸(88%)		
しそ	6戸(75%)	きゅうり	8戸(100%)		
ブロッコリー	6戸(75%)	なす	8戸(100%)		
にら	6戸(75%)	レタス	6戸(75%)		
ほうれん草	7戸(88%)	カリフラワー	3戸(38%)		
グリーンアスパラ	4戸(50%)	かぼ	1戸(13%)		
なんばん	1戸(13%)	ラデッシュ	4戸(50%)		
サラダ野菜	2戸(25%)	かいわれ	1戸(13%)		
野ざわ	1戸(13%)	セルリー	1戸(13%)		
あさつき	1戸(13%)	ゆり根	1戸(13%)		
		つるなしかぼちゃ	1戸(13%)		
		たい菜	2戸(25%)		
		枝豆	2戸(25%)		

生活講座④

生活のうまみ 自家生産物

北根室地区農業改良普及所

自給野菜の栽培促進と有効利用が農協婦人部の活動課題となり上げられており、昨年の春から今年にかけての一年間、自分の家で栽培した野菜と購入して利用した野菜の実態について、

◎栽培されている種類

【果菜類、他】	
種類	栽培割合
スイカ	1戸(13%)
メロン	5戸(63%)
まくわうり	1戸(13%)
いちご	3戸(38%)
とうもろこし	6戸(75%)
菜豆	4戸(50%)
いたけ	7戸(88%)
しなめこ	1戸(13%)
しなめこ	1戸(13%)

図1 自給と購入の割合 (1戸、年平均)

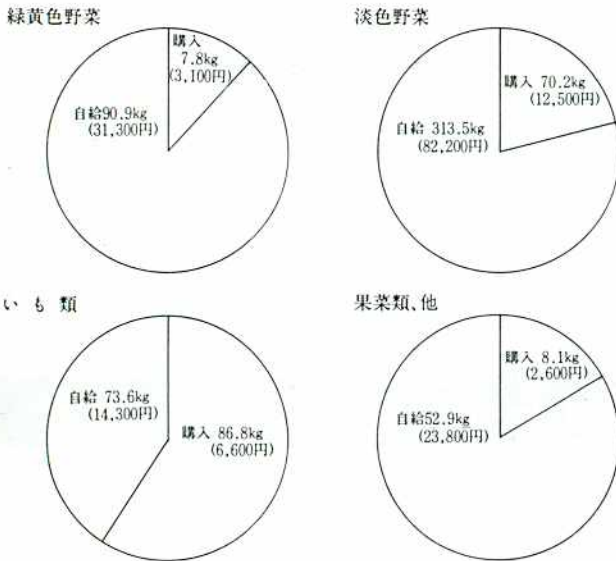


表2 必要量に対する食べた割合

野菜の種類	必要量	摂取量	充足割合
緑黄色野菜	100g	45.9g	45.9%
淡色野菜	200g	175.2g	87.6%
いも類	100g	76.2g	76.2%

(1人1日当り)

八戸で作られていた野菜の種類は四十八品目あり、露地とハウスを合わせた栽培体系では多種の野菜作りを可能にしています。

◎自給と購入の割合
八戸の平均から見ると、一戸あたりの野菜消費量は七〇三kgで、その内の五三二kg、七十五%は自家生産でまかなわれ、残り分は購入にたよられているのが実情です。

◎野菜の食べている量
野菜は栄養成分上から見て、体内でビタミンAに変化するカロチンを多量に含む緑黄色野菜とその他の淡色野菜に分けられる。野菜の消費量を一人一日あたりで換算すると、必要量を下回り、野菜不足傾向です。

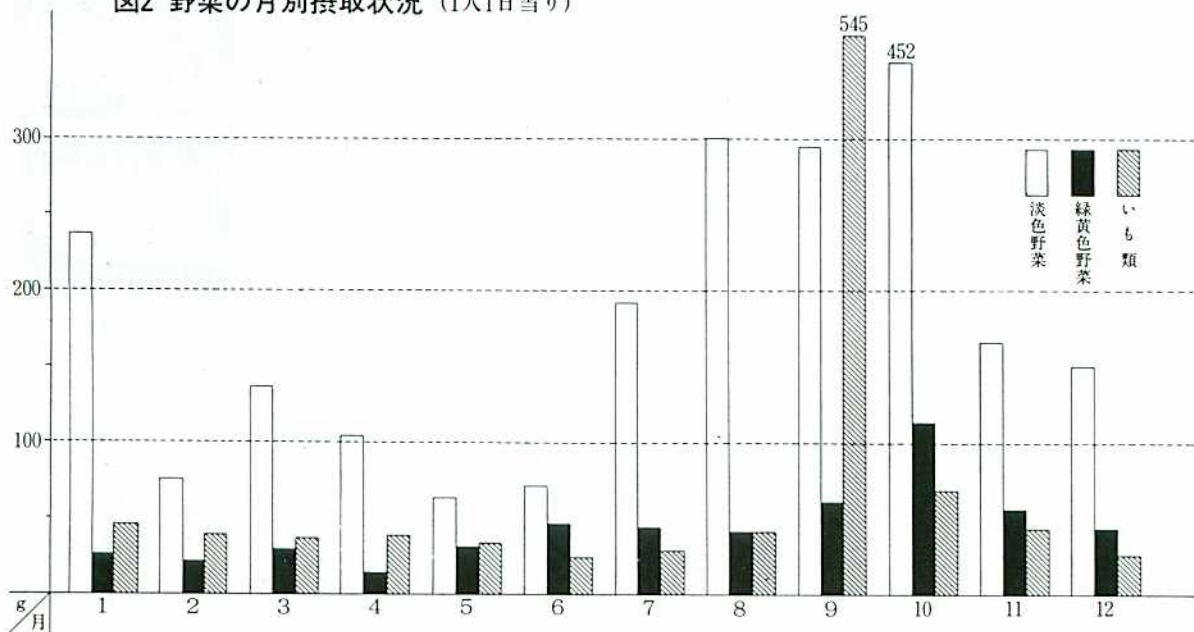
◎季節別に見た野菜の消費量
夏野菜が収穫期にはいる七月より秋野菜のとれる十月頃までは、野菜の摂取量もほぼ安定しているが、貯蔵野菜にたよる冬期間や端境期の春には慢性的に野菜不足の傾向にあります。

◎まとめ
食生活が豊かになってきて、いつの間にか食卓には、肉や魚加工食品が中心となり、野菜やいも類が片隅になっていっているのではないのでしょうか。

バランスのとれた正しい食生活が健康で働き、幸せな家庭生活の基本となるのであるから、わが家の食事のあり方について考えてみる必要があります。

野菜やいもに加えて牛乳の自家生産物の利用を積極的に考え農村ならではの手作りの食事を作りだしていきましょう。

図2 野菜の月別摂取状況 (1人1日当り)



種子馬鈴薯防疫検査全筆合格!!

本年の種子馬鈴薯防疫検査は、八月六日の第三期検査にて全部終了致しましたが、結果をご報告致します。

第一期検査 福島防疫員

受検筆数 〓 場No.八・三十・四十・十九・二十五・三十三・四十・四十一・六十八・三十七
一・五十五・八十三・八十六
計十三筆

第二期検査 新国防疫員

受検筆数 〓 場No.一・九一・二十八・十二・十六・六十六・三十一・三十五・四十六・四十二・六十・六十二・五十四・九十一・八十四
一般は二筆 計十七筆

第三期検査 相原防疫員

受検筆数 〓 場No.七・二十九・十三・二・六十四・七十三・二十四・一・七十五・四十八・七十九・三十八・五十一・七十・八十六
一般は二筆 計十五筆
以上の通り受検致しましたが第二期・第三期共に一筆ハマキ病が確認されています。

又、毎年のように指適を受けている立て札の記入も一部のほ

場をのぞいて記入されるようになっております。今後、収穫時まで、疫病・アブラムシの防除の徹底・病株イモ（ハマキ・レシヨウ・その他）の完全抜取りを願います。又、今後トラクター等農作業機の使用が増えますので事故のないよう願います。

実践している基礎技術

記帳から経営改善に取り組んで

西開陽 国見 実さん

開陽台の麓で酪農経営を営む国見さんにお話しを伺いました。

国見さんは、現在の西開陽に入植して三十二年間、畑作経営から酪農專業経営へと、その間経営記録簿を欠かさず記帳し（途中一年間記帳が出来なかった）計画との対比をしながら経営改善を図ってきた。

クミカンが発足した当時、二年統いて赤字になり、返済に四年間かかり、苦勞して返済した事が国見さんの経営方針を大き

8月の組合日誌

- 二日 内部会議
- 五〜六日 管内ホルスタイン共進会
- 十一日 実習生バス旅行
- 十三日 金融業務休業日
- 十九〜二十日 作況調査

く左右する程になったそうです。又、当時、資金を借りる時農協の担当者に二割以上の自己資金がなければ、やめた方がよいのではないかと指導され、その事が経営を進める上でプラスになったそうです。そのような経験を生かして現在も後継者の正則君が経営の中心となって堅実な酪農経営を行っています。

国見さんは年金がもらえる時になつたら、一人旅でもしてみたいなあと言っていました。



今年の夏期酪農実習も、悪天候の中でありましたが、受入農家のみなさんの指導と協力により無事終了することが出来ました。

今回は実習生のみなさんに、実習体験記を書いていただきましたので紹介いたします。

体験記その一

牛舎でウシをつなぎながら、なにげなく見上げるとなななんとウシに角がついていた。しかも随分と立派なものだ。ウシに角があるのは当然のことだし今までに角のついたウシを見たことがなかったわけではないけれど何十頭という角のついたウシの集団の視線は迫力があり、一種のおどろきを感じた。実習はこのおどろきから始まって様々な感動を与えてくれている。朝はきつく、すっかり目がさ

めるのは、搾乳時でありミルクをおさえている私に飛んでくるウシのしっぽの一撃!これが毎朝の目ざましである。今朝もそれで目がさめ、ウシの口もとをぼーっと見ていると、ウシによって草をかむ時下顎を右に回すのと左に回すのがあるのを発見して右回は右利き、左回は左利きかな?などと思えば、ばかなことを考えていた。しかし、こんなことを考えるのも実習ならではのことなのであろう。

実習以外にも、開拓時代の話やウシについてのあれこれの話には、色々興味のあることがあった。

この実習で自分が吸収できるものはできるだけ吸収していきたい。消化不良を起さない程度で……!?

体験記その二

手には、ママが七コ。そのうちやぶけたのが四コ。指でも第二関節が痛くて曲げられないものが二本あります。とにかく東京育ちの私が考えるに、肉体的にハードな仕事が多くて大変で

した。

十三日目くらいから体が重くて動かなくなってくるように感じました。そうすると自分で勝手に、楽な仕事を求めるようになってしまう、また、受入れ先の家族の方々の親切にまえてしまっている自分に気づいたときははずかしい気がしました。私が考えていたことが甘かったことがはつきりと理解で

きたのは、着いた次の日からの牛舎の掃除でした。もうその日からママが左手に立派な姿をあらわしました。スコップを使うにも腰がすぐに痛くなってしまい、日頃の生活のなまぬるさを農家の方々に対してはすかし、思い、そしてくやしき思いました。良い体をしていても使わなければどうにもならないということがかみしめられました。

ほしいと、その後から思うようになりまし。一そのときの景色が最高に思えたものですから……。

乾燥牧草の収穫がはじまると刈り取った草の上が砂漠にでもいるような気がして、あつという間にバテてしまい、ここでもはすかしき思いました。また今原因不明の腹痛になやまされてしまっている私の体のひ弱さがかくやくしてなさげなく思えて、

階段をはって昇っていたはじめの頃でした。仕事にようやくなれてきたつもり(手ぬきを憶えたのかもしれないが!?どうもすみません)になったころはじめてからずっと晴れた日がありました。そのときの気分はとて良いものでした。太陽がもつともっと照って

また、昔の開拓の時代やそれからの農家のうつりかわり、生活環境の変化、政府の政策についてなど多くのことを教えてもらい、この酪農家になったことをうれしく思っています。

この一ヶ月の間でできるだけ多くの事がらを憶えて、後々の勉強に役立てていきたいと思えます。



一日バス旅行でのひと時

酪農ヘルパーが 利用しやす くなりました。

酪農ヘルパーが発足して一年半経過しましたが、組合員のご理解の基に順調に利用されていますが、今回から更に利用しやすいように次の部分が改訂されました。

第四条 三、レジャー・研修活動等のため搾乳労働等ができない場合。

第十四条(追加分) 尚、利用者不在の場合には事前打合せの負担金として、二千元を徴収する。

以上が改訂点として今までの冠婚葬祭以外のレジャー等を含む利用について幅を広げましたので組合員のご利用をお願い致します。

酪農実習生 受入れ協議会 発足する!!

かねてより懸案でありました長期酪農実習生不足を解消するためには、受入農家主体のしっかりとした受入組織が必要であるということから、過日受入希望農家が集まり、設立総会をおこない、規約・受入れ内規を決議し、後期役員を選出しました。

今後は、実習生の受入募集・研修視察・地域との交流会・関係機関との連携等広く活動することとしました。なお、入会希望の方は、事務局までご連絡下

さい。

名称 中標津町農業協同組合
酪農実習生受入れ協議会

役員

会長 佐藤載康
副会長 西山健・竹下日吉
警見孝・高平幸夫
中本栄二・久我良夫
児玉光彦・藤井弘美

監事
国光 昭・山崎 隆

事務局
農協内営農部

生乳販売 共計勘定の 精算終る!!

昭和五十七年度の全道生乳販売共計勘定の精算が確定し、左記のとおり残余金が戻ってきましたので、夫々組勘口座に振込みをいたしました。

記

- 一、精算残余返戻金
- 二、六四五、五四三円
- 三、残余返戻対象乳量
五十七年度受託一等乳量
四錢九五八一〇
- 四、組勘へ振込月日
八月八日
- 五、組勘へ振込の摘要
ハンバイキョウケイザンヨ

カナダで 酪農実習を してみませんか?

北海道アルバータ酪農科学技術交流協会では、昭和五十八年酪農実習生を募集しています。

一、実習地
カナダ国アルバータ州

二、実習期間
昭和五十九年四月上旬出発
予定

三、募集締切日
十月十一日まで農協広報係
まで申し込んで下さい。

尚、詳しく知りたい方についてもお尋ね下さい。

検査成績

前年・前月との比較

月	ランク				
	0	1	2	3以上	
7月	57年	534	311	44	2
	58年	647	218	18	2
8月	57年	600	266	17	2
	58年	689	176	20	0

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬
西山一義	0	0	0	真野米光	0	0	0	武田淳志	0	0	0
佐々木邦雄	0	0	0	寺島享	0	0	0	後木意子	0	0	0
赤波江一彦	1	1	1	佐藤憲治	1	0	1	久保栄興	0	0	0
日下芳昭	0	0	0	佐藤忠男	0	0	0	新井真	0	0	0
加茂正毅	0	1	0	佐藤和雄	0	1	0	片野博	0	0	1
佐々木政行	1	1	2	塩田専治	2	0	0	第二俣落地区			
三盛貞行	0	0	1	五十嵐中輝	0	0	0	西村徳守	0	0	0
高島貞作	0	0	0	田中輝繁	0	0	0	西垣洋	0	0	0
福島信一	0	0	0	山本秀夫	0	0	0	保科清	1	2	0
古田起雄	0	0	0	安達和永	0	0	0	松岡喜代之助	1	0	0
本多村萌	0	1	1	志賀安正	0	0	0	田代昭	1	2	2
中野敏夫	0	1	0	志賀正	0	0	0	井ノ口定則	1	1	0
真村勇	0	0	0	篠永	0	0	0	安江八五郎	1	0	0
多田俊夫	1	1	1	俣落地区				坂持昭	0	1	0
小岩正一	1	1	2	原栄一	0	0	0	斉藤別	1	0	0
伏見哲	0	1	0	大木敏夫	0	0	0	山口宏幸	1	1	0
中川一平	0	0	0	小林金司	0	0	0	峰松秀樹	1	1	1
武佐地区				板橋寿	0	2	0	沖片岡宅次	0	1	0
丹羽孝	0	0	1	岩井部一好	0	0	0	片岡正春	0	0	1
丹羽賢	0	1	0	遠藤幸一	0	0	0	弾正昭	0	0	0
中司哲雄	0	0	0	遠藤幸吉	0	1	0	国光直行	0	0	0
上原徳保	0	1	0	高橋文夫	0	0	0	遠藤直	2	1	0
工藤正義	0	0	0	松村晴由	0	0	0	佐伯次	0	0	0
舟橋清高	1	1	0	小本美正	0	0	0	来栖清身	0	0	0
酒井雅隆	0	0	0	小山村弘志	0	0	0	川村清繁	1	1	0
目黒重美	1	1	1	管原弘	0	0	0	加藤原蝶七	0	1	1
工藤玉光彦	0	0	0	上村重光	1	1	1	萩原昇司	0	0	0
白田慶和	0	0	0	上村力	0	0	0	星野本広	0	1	1
井口精一	1	1	0	松本正通	0	0	0	滝ヶ平義明	0	1	0
川上茂	0	1	0	藤原賢司	0	1	0	滝内木原明治郎	0	0	0
長谷川寿雄	0	1	0	遠藤忠	0	0	0	八木原健雄	0	0	0
花尻武雄	0	0	1	阿部稔	0	1	1	中前秀隆	0	1	0
中条由治	0	0	1	上ヶ島国民	0	0	0	前原芳照	0	0	1
奥村保章	0	1	0	山崎清一	0	0	0	町田喜清	0	0	0
萱岡信昌	0	0	0	藤田誠	0	0	0	房川正保	0	1	0
高橋秀夫	1	1	1	藤田幸男	0	0	0	宮富保夫	0	0	0
藤原勝一	0	0	0	釧持与畏	0	0	0	谷村茂夫	0	0	1
林文雄	0	0	0	遠藤実	0	0	0	武田三郎	0	1	0
佐藤敏昭	0	0	0	宮田孝	0	0	1	藤井弘美	0	0	0
佐藤一賢	0	0	1	鷺見部	0	1	0	北村匡仁	0	1	0
清原一稔	0	0	0	真渡利秋	0	0	0	杉本義一	0	0	0
湯山幸男	1	0	0	田代良司	0	0	0	田島義康	0	0	1
湯山幸男	1	0	0	相沢武雄	0	0	0	佐藤幸男	0	0	0
門馬四郎	0	0	0	太田直行	0	1	1	松本一郎	0	0	0
中塚文雄	0	0	0	古瀬敏弘	0	0	0	飯野国雄	0	0	1
石原井武	0	1	1	小谷盛政	0	0	0	横田日吉	0	0	0
西井信一	0	0	1	秋藤一雄	0	0	0	竹田治郎	0	0	2
土井正雄	0	0	0	齐藤勉	0	0	0	柳田喜三	0	0	0
土井正雄	0	0	0	広瀬清寿	0	0	0	青木ふさ子	0	0	0
小沼佐太	0	0	0	半沢勇雄	0	0	0	青木又左門	0	0	0
熊谷正信	0	0	0	笠原良夫	0	0	0	関田好一	0	0	0
山本雪信	0	0	1					横田好一	0	0	0

質のよいミルクをつくるために これだけには守りましょう。

6つのルール

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終わるたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルキングシステムの定期点検

※検査ランク2の場合は当日出荷乳量に1kg当り5円、3以上の場合には100円のペナルティが課せられます。

8月乳質

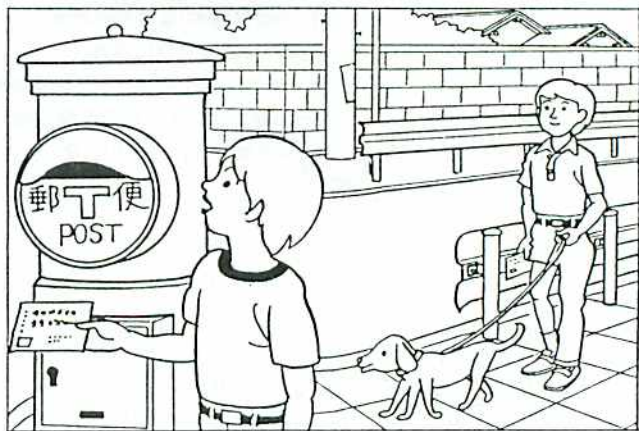
氏名	上旬	中旬	下旬
鈴木修	0	0	0
高橋一男	1	0	1
高平幸夫	0	0	1
中本要	0	0	0
半沢利平	0	0	0
国見一男	1	0	0
国見実雄	0	1	1
斉藤哲栄	0	1	1
伊藤秀子	1	0	0
千代清	0	0	0
村井直行	0	0	0
山崎隆夫	1	1	1
後藤信清	1	1	1
斉藤清志	2	1	0
今井靖清	0	0	0
山田昭男	0	1	0
房川喜延	0	0	0
井上亮夫	0	1	0
井笠剛	1	1	0
赤堀岩男	0	1	0
鈴木敏夫	1	1	1
開陽牧場	0	0	0
俵橋地区			
乾成夫	0	1	1
乾雅	0	0	0
乾洋	0	0	0
伊藤武	0	0	0
大富雄	0	1	0
山下孝二	0	0	0
北川正治	0	0	0
水本みどり	0	0	0
山本正八	0	0	0
榎田英雄	0	0	0
穴吹貞明	0	1	0
佐藤きえ子	0	0	0
佐々木昭雄	1	1	0
野口忍	0	0	0
太田功	0	1	0
岡次郎	0	0	0
金子安有	1	1	0
高野国忠	2	2	1
工藤隆弘	0	1	0
赤波江清	0	1	1
沢口俊夫	1	1	0
桜井義雄	0	2	1
西山健郎	0	0	0
大西英明	1	1	0
福島昭憲	0	0	0
下川原秀子	0	0	0
三輪貞夫	0	0	1

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬
当幌地区							
飯島光五郎	0	0	1	長洲貞義	0	0	0
飯島精市	0	0	0	石崎仁一郎	0	0	0
奥田勝佳	0	0	0	高藤祐藏	0	1	0
奥田健雄	0	0	0	高連田弘	0	1	1
中山安寿	0	0	0	永谷雄幸	0	0	0
阿部俊勝	0	0	1	長繩忠弘	0	0	0
鈴木垣幹	0	0	0	麻郷忠勝	0	1	0
西垣丈夫	0	1	1	小針晴信	1	2	1
小原治	1	1	2	花川秀一	1	1	0
吉田繁行	0	0	0	古沢翠	0	2	0
竹村満夫	0	1	1	花川稔	0	0	0
高橋常次	0	0	0	今井輝男	0	0	0
筒井富良	0	0	0	岡部実行	0	1	0
筒井秋吉	0	0	0	渡邊善	0	0	0
室井太吉	0	0	0	松隈健二	0	0	0
安田吉稔	0	0	0	古瀬豊	0	0	0
山田一男	0	1	2	藤本久雄	2	0	1
松田吉正	0	1	1	小川清	0	0	0
舟田正義	0	0	0	佐藤嘉美	0	0	1
菊地良	0	0	1	佐藤末	0	0	0
遠田要三	0	1	1	佐藤永	1	1	0
西山隆一	1	1	1	佐藤永	0	0	0
長正路清	0	0	0	佐藤東	0	0	0
大野富夫	1	1	0	望月幸男	0	0	0
吉成ハナ子	1	1	0	白築博	0	0	0
福村守	0	1	0	武田勇	0	0	0
遠藤弘成	0	0	0	高橋敏夫	0	0	0
唐崎幸司	0	0	0	熊倉彦吉	0	0	0
中標津地区							
坂欣一	0	0	0	小林茂夫	0	0	0
坂恭民	0	0	0	阿部正三	0	0	1
吉川晴久	0	0	0	佐藤三	0	0	0
開陽地区							
滝場慎二	0	0	0	土井昭男	0	1	0
久保慶一郎	0	0	0	向館金吾	0	0	0
久我良夫	0	0	0	山田輝男	0	0	0
正城純一	0	0	0	浅野トミ子	0	1	2
荒昭	0	0	0	吾妻紀己	0	0	0
桜井幸一	0	0	0	吾妻木嵩	1	2	0
佐々木繁雄	1	1	0	桜井寿夫	0	0	0
佐藤信義	0	0	0	高橋勝義	0	0	0
三森章司	1	0	0	中本栄二	0	0	0
下山幸一	0	0	0	丸田良夫	0	0	0

※お詫び 7月号乳質検査成績中旬で白築政博さんがランク2となっていました、ランク1のまちがいでしたのでお詫びして訂正致します。

小中学生の諸君!!
あなたの正解をお寄せ下さい。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違
いがあるでしょうか。間違いを
見つけて、その数をハガキに書
いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送
って下さい。
- ②あなたの氏名・年令・住所を
書いて下さい。
- ③対象者 小・中学生
- ④宛先 中標津町東七条南二丁目
中標津町農協組織広報係

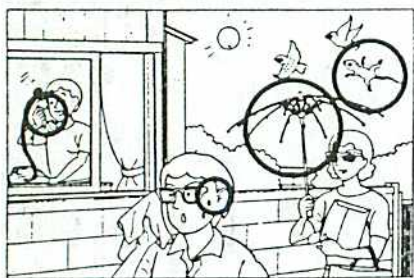
⑤締切り 九月二十日まで

*応募下さった方には全員参加
賞を差し上げます。なお、正
解者には当り賞を贈呈いたし
ますので多数応募下さい。
*発表は十一月号紙面で発表い
たします。

〔七月号の当選者〕

七月号の正解は「四つ」(下の
図の○印)でした。応募者数七
名で正解者は全員でしたので全
員に当り賞を贈呈いたしますの

《7月号の間違い箇所》



- 〃 乾 純ちゃん 九才
- 〃 乾 亜矢ちゃん 八才
- 〃 阿部 忍ちゃん 十才
- 〃 阿部留美ちゃん十一才
- 〃 中林亜紀ちゃん 九才
- 〃 依橋 森島由紀ちゃん 十才
- 〃 当幌 阿部かおりちゃん七才

◎お年寄りや障害者と税金
お年寄りや心身に障害のある
方については、税金の面で次の
で広報係へお尋ね下さい。
*正解者は次の通りです。

税の知識

根室税務署

ような特典があります。

▼老人扶養控除……三十五万円
(同居している両親や祖父母に
ついては四十万円)

▼老人配偶者控除……三十五万
円

▼障害者控除……二十三万円
(心身障害者本人や心身障害者
を扶養している方の所得金額か
ら差し引かれる控除)

▼障害者控除……二十三万円
(特別障害者の場合は三十一万
円)

▼同居の特別障害者の扶養(配
偶者)控除……三十四万円

▼老年者年金特別控除……公的
年金や恩給の収入金額の合計
額から七十八万円を差し引く
ことができます。

▼老年者控除……所得金額から
二十三万円を差し引くことが
できます。

表紙写真

今回の表紙写真は、豊岡地区の今井和子さん二十九才です。
和子さんは、嫁いで四年目、二人の子供に恵まれ、今は子育ての真最中。育児と農作業で余欲がないのが現実と言つ彼女、余欲が出来ればトラクターの免許を取りたいと抱負を語っていました。
積極的な明るいお嫁さんです。

